

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第48回まちづくり構想部会）会議録

日時：令和6年3月14日（木）午後7時50分～午後8時20分

場所：東淀川区役所出張所3階多目的室

出席者：久教授、西淡路地域、啓発地域、東淡路柴島地域、下新庄地域、新庄地域

【議事】

1 開会

2 議題

・ (1) 令和6年度の予定

・ (2) アクションプランの検討状況（下新庄・啓発地域活動協議会）

・ ・下新庄地域より

・ ・啓発地域より

4 その他

5 閉会

《配付資料》

・ 議事次第

・ 地域からの報告資料

1. 開会

（事務局 東淀川区役所）

- ・ 協議会に引き続き、第48回まちづくり構想部会を始めます。

2. 議題

(1) 令和6年度の予定

（事務局）

- ・ 令和6年度の活動予定です。まちづくり構想部会について、部会の開催時期はこれまでと同様に2か月に1回、全6回を予定しています。
- ・ 各地域でのアクションプランの検討やワークショップについては、各地域の部会員さん、各地域活動協議会の協力を得ながら連携を図り、支援をさせていただきます。

(2) アクションプランの検討状況（下新庄・啓発地域活動協議会）

（事務局）

- ・ 前回の会議以降、下新庄地域と啓発地域で、ワークショップなどアクションプランの検討を行いました。簡単に2つの地域からご報告いただきます。

【下新庄地域】

（下新庄地域 部会員）

- ・ 2月3日に集まって、ワークショップを開催しました。コロナ以降、久しぶりだったので、過去の振り返りを含め、地域の安全や交通について話し合いました。
- ・ 皆さんもご存じのとおり、急速に阪急下新庄駅のまわりの工事が目に見える形で進んできました。踏切がなくなるのは良いのですが、坂の勾配がきつく、交通量なども懸念されます。
- ・ 次回は5月にワークショップを開催し、地域の防犯と防災について話しあう予定です。

(事務局)

- ・現在踏切のある坂の勾配のお話については、建設局にお伝えします。

【啓発地域】

(啓発地域 部会員)

- ・2月15日に、啓発地域の部会員と、区役所／コンサルタントのお二人とで、地域の地図を広げて話しあいました。コロナ以前に何度かワークショップを開催していましたが、もう一度初心に戻ってみよう、と考えた内容をまとめてもらったのが配布資料です。
- ・地域の将来について、未来のある子ども達と一緒に考えよう、買い物が不便になってきた地域の高齢者へのサービスができないかなど、もっと住みやすい地域になるための議題が挙がったと思います。

(事務局)

- ・地活協会長より、啓発地域では福祉のほうでもワークショップをしているので、今後それらの意見も合わせてもらえれば、と聞いています。

(事務局)

- ・今年度開催した構想部会の運営、テーマについて部会員の方々にアンケートをしました。お手元の集計データをご覧ください。10名の部会員のかたに回答をいただき、ありがとうございました。頂いたご意見は、6年度の運営の参考にさせていただきます。

(久教授)

- ・阪急の高架化工事が進んできて、いよいよ橋脚ができて踏切がなくなるのだという実感が出てきました。人や車の流れなど、交通も変わってくるでしょう。その前にやっておかないといけないことを地域で考え、できるだけ早くから動くことで対策ができると思います。
- ・本日の啓発地域からのご報告を伺っていて、地域の役員さんたちの声を聴く場というのはあるのですが、地域で活動している人や熱意を持った人の意見が聴ける場というのは一般的にあまりありません。これからワークショップをされるときに、ぜひ広めに参加を呼びかけて、熱意を持って地域活動に取り組もうとしている人を巻き込んでいてもらいたいと思います。
- ・お寺を使ったまちづくりのお話もありましたが、お寺や神社を地域に開放すると、なかなか面白いことができるので、住職や宮司さん、そしてその奥さんなど、一緒にやっていける人が見つかるといいですね。放出の地活協では、神社で音楽祭を開けないか？という話になり、宮司さんの奥さんがピアノをやっているからそこから話ができるのでは？といった形で進んでいます。住職や宮司さんご本人でなくても、身内の方に前向きな方がいるかもしれません。学校も同じで、たとえば校長先生に断られても、教頭先生や他の先生など、まわりの人から攻めていく、巻き込んでいく、という気持ちで進めてもらいたいと思います。私が住んでいる茨木では、茨木神社の宮司さんもまちづくりの仲間なので、非常に協力的です。ほかに、民間である程度の広さの敷地を持っているところとか、可能性はあると思います。
- ・もう一つは、宝塚市では小学校区単位でまちづくり協議会があります。ある地区の会長が、計画を見直す

時に、「会長の自分が見たことのない計画（の内容）を住民の皆さんが知っているわけがない」と言いました。その計画は、一部の役員さん達で作ったものだったからです。啓発地域の資料の中にもありましたが、子ども達の意見が入った計画であれば、20～30年後に彼ら・彼女らが関わることになるかもしれません。世代を超えて、自分たちの計画として受け継がれていくことになります。

（質疑応答）

（新庄地域 部会員）

- ・新庄地域のお寺では、音楽祭をしています。春日神社では落語会を定期的を開催しています。地域に開かれていて、コミュニケーションの機会を作っていると思います。

（久教授）

- ・お寺や神社に限りませんが、同業者は一つ落とせば他でもできるようになることが多いです。

（東淡路・柴島地域 部会員）

- ・大阪市から柴島浄水場の計画説明があったことは知りませんでした。区役所も出席していたのですか？

（事務局）

- ・区役所が仲介し、計画調整局から今後の進め方を説明していただきました。私と佐野係長の二名で参加しました。

（東淡路・柴島地域 部会員）

- ・地域でワークショップをするときに、「どんなまちにしたい？」だけでは、難しいと感じています。
- ・地域の意見を取り入れてもらえるように、地域としての意見をまとめて出していかないといけないのでしょうか。もっとワークショップの参加者を増やせばいいのでしょうか？
- ・地域に大きな施設ができて、たくさん人がやってきて、地域を通り過ぎていくだけになってしまいます。

（事務局）

- ・地域の思いを形にしていくことが大切だと思っています。しっかり作りこんでいくよりも、地域の思いや声を区役所がパイプ役になって市の事業部局や企業へ伝えていきたいと思っています。どのプロジェクトも、地域や周辺となじむものにしていきたいと思っています。
- ・令和5年度は地域の意見や声を聴く場を設けてきました。来年度も続けていきます。

（東淡路・柴島地域 部会員）

- ・柴島浄水場についても、説明を受けたり話し合う組織があって、地域が参加できればよいのでしょうか。新大阪東口部会のように部会をつくってもらえないのでしょうか？

（事務局）

- ・柴島浄水場については、まだ何も無いところから叩き台を作っていく段階なので、部会はまだ先のタイミングで検討することになると思います。

（西淡路地域 部会長）

- ・新大阪東口部会は、東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会とほぼ同時期に立ち上がりました。

東淀川区西部地域は広いので、それぞれの地域毎のプランがあって当然だと思いますし、新大阪駅周辺にはそれぞれの地域の思いがあります。

- ・事業者、市、区、地域がそれぞれバラバラではなく、より住民参加を、より具体的に、より議論を深めながら一緒に進めていきたい、という思いです。住民集会も3～4か所で開催しました。
- ・新大阪東口部会の前身で、西淡路まちづくり協議会があり、市の助成やコンサルタント派遣を受けたりして、ある程度活動ができてきたこともあり、関係者で議論する土台が出来ていました。

(久教授)

- ・この協議会の発足当時は、市営住宅の建て替えや空き地の利活用なども議題としてあり、新大阪周辺ではこれからもビッグプロジェクトがいくつもあることがわかっていましたね。
- ・区役所がなんでも事務局になるというもの……。市の担当部局が主体になって、地域と一緒にワークショップをしながら事業を進めていく方法もあると思います。区役所でなくても、水道局や計画調整局が事業者となってもいいでしょう。動かし方はいろいろあるので、それも考えてみてください。例えば、柴島浄水場の事業者公募の条件の一つに、地域住民とのワークショップの開催を入れてもいいと思います。
- ・地元の要望は個別では捌ききれないので、地域の意見を一つにまとめてもらわないと対応できないということはあると思います。

(事務局)

- ・久先生のお話のとおり、いろいろなやり方があると思います。区役所としては水道局との話もこれからで、まだスタートラインにも立っていない段階です。

(東淡路・柴島地域 部会員)

- ・若い人の意見を聴きたいと思っているのですが、人の集め方など工夫しないといけないと切実に感じています。

(東淡路・柴島地域 部会員)

- ・柴島浄水場の検討に、エリアをどこまで含めるか、ということもありますね。

(久教授)

- ・茨木市では、なんでも市民協働でワークショップなどで市民の意見を聴き取ってプロジェクトが進められています。例えば、今整備中の市民会館・図書館・子育て支援施設などの複合施設「オニクル」には、「本棚のなかで本を読みたい」という子どもの意見が設計に反映されました。早い段階であれば、事業に住民の意見を取り込んでもらえることもあります。下新庄駅の踏切付近の坂の勾配の件についても、今なら阪急電鉄さんが何か対策を考えてくれるのではないのでしょうか。実際に阪急の摂津市駅は、踏切の直近に新駅ができたので、地域意見を踏まえ、踏切の時間調整をすることで解決を図っています。

5. 閉会

(事務局)

- ・来年度も引き続き、ご議論をお願いします。
- ・次回の部会は、5月9日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

以上